

養護採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]		採点上の注意	配点	
1	(ア)	安全		各3×9 27	
	(イ)	安全点検			
	(ウ)	通学			
	(エ)	職員の研修			
	(オ)	計画			
	(カ)	危険等発生時			
	(キ)	危害			
	(ク)	心理的外傷			
	(ケ)	心身の健康			
2	(ア)	身長		各3×7 36	
	(イ)	栄養			
	(ウ)	聴力			
	(エ)	眼			
	(オ)	皮膚疾患			
	(カ)	結核			
	(キ)	尿			
3	(ア)	視診	順序は問わない。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	各3×5 20	
	(イ)	左右差			
	(ウ)	保健調査票			
	(エ)	医療機関の受診			
	(オ)	健康教育			
健康の考え方		順序は問わない。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	各4×5 20		
現代の感染症とその予防					
生活習慣病などの予防と回復					
喫煙、飲酒、薬物乱用と健康					
精神疾患の予防と回復					

養護採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]		採点上の注意	配点								
4	(ア) 耳介	耳殻 もよい。	各 3 × 7	2 1								
	(イ) 鼓膜											
	(ウ) ツチ骨											
	(エ) キヌタ骨											
	(オ) アブミ骨											
	(カ) 蝶牛	うずまき管 もよい。										
	(キ) 耳管											
5	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服を緩め、楽に呼吸ができるようにする。 ・名前を呼んだり、ゆり動かして刺激を加えたり、無理に押さえつけたりしない。 ・再度のけいれんによって打撲等のけがをしないよう、頭の下にやわらかいものを敷く。 ・転倒によるけががないか確認する。 ・口元は軽く拭き取る程度にし、口の中に指を入れたり、物を突っ込んだりすることは決してしない。 ・顔を横に向け、発作後の嘔吐による誤嚥を予防する。 ・失禁する場合があるため、タオル等で下半身を覆う。 ・意識がなく、普段どおりの呼吸がなければ、一次救命処置の手順により手当てし、医療機関搬送の判断を行う。 ・転倒からの経過を時間軸で細かく記録しておく。 		4つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	各 4 × 4								
6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の結果、保健指導を必要とする者 ・保健室等での児童生徒の対応を通して、保健指導の必要性がある者 ・日常の健康観察の結果、保健指導を必要とする者 ・心身の健康に課題を抱えている者 ・健康生活の実践に関して課題を抱えている者 		各 3 × 3								
	2	<p>頭痛やめまいの頻度等の肉体的症状とともに、精神的な悩みや困っていることがないかを聞き取り、ストレスが症状を悪化させる場合もあることを伝え、心と体の関係性について関心をもたせる。睡眠時間等の生活習慣について振り返らせることで自分の課題に気付かせ、治癒には時間がかかることから、疾病との向き合い方を考えさせる。</p> <p>受診の頻度や服薬について聞き取り、定期的な受診や継続的な服薬が早期回復に繋がることを理解させたり、生活習慣の改善について工夫できることと一緒に考えたりして、今後の取組について具体化し、行動を促す。一人で抱え込まず、周りの人に相談したり、支えてもらったりする必要があることを理解させる。</p>	問い合わせを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。	各 6 × 2								
7	1	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>①</td><td>(ウ)</td></tr> <tr> <td>②</td><td>(イ)</td></tr> <tr> <td>③</td><td>(エ)</td></tr> <tr> <td>④</td><td>(ア)</td></tr> </table>		①	(ウ)	②	(イ)	③	(エ)	④	(ア)	各 3 × 4
①	(ウ)											
②	(イ)											
③	(エ)											
④	(ア)											
				2 1								

養護採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採点上の注意	配点
7	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康観察や保健室来室時等、日常の観察により、子供、保護者、家庭状況の把握を行う。 ・健康診断時にあざや飢餓状態を確認したり、治療歴等に留意したりする。 ・水泳指導時に、あざや飢餓状態に留意するよう担任に依頼する。 ・スクールカウンセラー等による教育相談等を設定する。 ・アンケート調査等で何らかの訴えがないかを把握する。 	3つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	各 3×3
	<p>1</p> <p>児童生徒等の心身の健康問題の早期発見・早期対応を図る。</p> <p>感染症や食中毒などの集団発生状況を把握し、感染の拡大防止や予防を図る。</p> <p>日々の継続的な実施によって、児童生徒等に自他の健康に興味・関心をもたせ、自己管理能力の育成を図る。</p>	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	各 3×3
	<p>2</p> <p>現在、2年2組に新型コロナウイルス感染症陽性者が2名いるため、6/1～6/4まで学級閉鎖となっている。2年1組に発熱等5名、家族等のかぜ症状等2名の出席停止者、頭痛2名の欠席者がおり、2年2組に発熱等2名、家族等のかぜ症状等1名がいることから、今後、2年2組の学級閉鎖の延長、第2学年の学年閉鎖、集団感染（クラスター）の発生が考えられる。</p>	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	5
8	<p>全校生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の初期症状について情報提供を行う。 ・登校前の検温及び健康観察を確實に行い、体調が悪いときは登校を控えるよう再度指導する。 ・感染予防の基本（咳エチケット・マスクの着用・手洗い・手指の消毒等）を確認し、徹底するよう指導を行う。 <p>学級担任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級の生徒の健康観察を行い、新型コロナウイルス感染症の疑いがある症状がある者を把握して、養護教諭に報告するよう依頼する。 ・新型コロナウイルス感染症の陽性者が不適切な扱いを受けることがないよう学級の生徒に指導すること等、十分な配慮を依頼する。 ・他の生徒への感染を防ぐため学校保健安全法により出席停止扱いになるので、その間、安静・睡眠・栄養に気を付けて十分療養し早期回復を図るよう保護者へ指導助言することを依頼する。 <p>学校医</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年の健康観察結果及び最近の欠席者状況等を詳しく報告する。 ・学校における今後の感染拡大防止策について指導助言を受ける。 ・感染拡大防止策に係る保健だよりの発行等、保健指導を実施するに当たり、指導助言を受ける。 	<p>それぞれ2つ書かれていればよい。</p> <p>内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。</p>	38 各 4×6